

1 飯田市版総合戦略の全体像

人口ビジョン (2045年)

人口の将来展望

- 定住人口 91,000人
- 休日滞在人口率 2倍 (182,000人)

総合戦略の方向

リニア時代を見据え、地域に活力を生む「知の拠点」の形成と世界に誇れる飯田のライフスタイルの提案

総合戦略(平成27年度～31年度)		
4つの柱と基本目標	施策の展開と重要業績評価指標	主な事業・取組
<p>1 若者が帰ってこられる産業をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学卒者の地域内回帰・定着率: 43.9%⇒50% 	<p>1-1 産業振興に寄与する「知の拠点」の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業技術センター・EMCセンター利用件数: 1,200件 ・共同研究講座学位取得者数: 10人 <p>1-2 新たな産業分野、地域産業の高付加価値化への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物新規市場開拓事業数: 10事業 ・異業種連携による新商品開発数: 6件 <p>1-3 地域産業の担い手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業生の地元就職者数: 375人 ・進学者のUターン就職者数: 375人 ・新たに新規就農・経営継承給付金を受給する人数: 10人 	<p>1-1 信州大学と連携した航空機産業分野の人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的試験場の役割を担う工業技術センターEMCセンターの技術開発力の強化・地場産業等振興事業 <p>1-2 新産業クラスター形成事業・ツーリズム連携による地域農産物ファン創出事業・地域産品ブランド化事業・農産物新マーケットチャレンジ事業</p> <p>1-3 地元高校生の進路選択支援と就職する地元高校生向けの社会人育成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生、若者に対するUターン就職の支援 ・農業の担い手誘致、新規就農者支援 ・ものづくり高度人材育成事業 ・にぎわい創出店舗活用事業 ・起業家育成支援事業、いいだ森林学校の開講
<p>2 飯田市への新しい人の流れをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日滞在人口率: 1.44倍⇒1.50倍 	<p>2-1 飯田だから実現できるライフスタイルの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住した子育て世帯の総人数: 35人 ・農ある暮らしを目的とした移住者数: 8人 <p>2-2 「結いのまち」飯田においてなんじょ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプスエリアを訪れた観光客数: 233,000人 ・体験プログラム年間参加者数: 50,000人 ・天龍峡ご案内人が案内した観光客数: 6,000人 <p>2-3 企業の地方移転・拠点の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新産業団地への立地企業における新たな雇用者: 80人 <p>2-4 地域振興に寄与する「知の拠点」の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学輪IDAとの連携によるプロジェクト数: 13件 <p>2-5 地育力と協働によるグローバル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じている児童生徒の割合: 90% ・学習支援事業に参加している参加者の満足度: 70% ・ふるさとに愛着を感じている高校生の割合: 78% 	<p>2-1 「暮らし方・働き方・学び方」の新たな提案、発信による若者の交流居住支援・移住者の相談窓口の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの運営 ・農ある暮らしの提案 <p>2-2 観光誘客宣伝事業・シティプロモーション推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> エコパークジオパークエリア4市町村(飯田市・伊那市・富士見町・大鹿村)の連携による観光誘客の推進、遠山郷観光戦略プロジェクト事業 ・体験型観光推進事業 ・天龍峡活性化事業 ・人形劇のまちづくり推進事業、人形劇のまち国際化推進事業 <p>2-3 自然環境と共生する新たな産業用地の整備と企業立地補助制度の拡充</p> <p>2-4 大学とのネットワーク構築事業</p> <p>2-5 小中連携・一貫教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地育力を活用した各年代に応じたふるさと学習の展開 ・ふるさと学習推進事業、体験活動推進事業、キャリア教育推進事業、高校生等次世代育成事業 ・地域に根差した公民館活動と多彩な講座の開催
<p>3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率: 1.76⇒1.80 	<p>3-1 若者のライフデザインとその実現の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚姻件数: 500件 <p>3-2 信頼と絆で応援、健康な子育てのまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすいまちだと思ふ人の割合: 66.0% ・ゆいっぴつ広場、つどいの広場、未満児保育の利用割合: 100% <p>3-3 子育ての幸せ実感と子どもの数の理想実現支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ等の定員: 970人 ・子育てしやすいまちだと思ふ人の割合: 66.0% <p>3-4 「飯田版上質な子育て環境」による若い世代の流入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを産みやすい環境のまちだと思ふ人の割合: 40% ・保育所等の周辺に自然体験のできる環境を創出した数: 20箇所 ・親が食農体験、食育活動に関わった園の割合: 100% 	<p>3-1 とともに未来を支え合うパートナーづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産に影響のある疾患等の有無を検査するプライダルチェックの啓発 ・不妊治療費の助成 <p>3-2 子ども医療費給付事業・親子の成長発達を応援する取組・事業者子育て応援推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭応援センター事業 <p>3-3 児童館、児童センター、児童クラブの運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯に対する保育料軽減の拡充 <p>3-4 妊産婦さんがホッとできる機会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“ノーベル賞につながる!?”こどもの感性を育むまちづくり
<p>4 環境と経済が好循環する低炭素なまちをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス削減量: 35,417t-CO2⇒66,303t-CO2 	<p>4-1 地域環境権条例を活用した飯田型再エネまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境権を行使した市民の割合: 80% <p>4-2 「目指せ! 域産域消」おひさまエネルギー拡大PJ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の設置容量: 40,130kw <p>4-3 「目指せ!」域内循環もりのエネルギー促進PJ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス燃料に活用する材の量: 3,300t <p>4-4 “少しの工夫で幸せいっぱい”地域ぐるみで省エネ大作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ改修等の改善による温室効果ガスの削減量: 42,466t-CO2 <p>4-5 “魅力アップ”リニア時代へのスマートシティ創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ等の計画策定件数: 3件 	<p>4-1 新エネルギー推進リーディング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境権による市民の再生可能エネルギー活用 <p>4-2 おひさまのエネルギー利用促進事業</p> <p>4-3 もりのエネルギー利用推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田の木で家を建てるプロジェクト事業 <p>4-4 省エネルギー推進事業</p> <p>4-5 リニア駅周辺整備検討会議環境・景観部会の立ち上げ、連携研究</p>

四つの柱の実効性を高める取組

産業振興と地域振興の「知の拠点」づくり